

1 題材名 My ラッキー☆チャーム ～私を支えてくれるもの～

2 題材の目標

- 鋳型による作品づくりに関心をもち、自分のお守りをつくることに意欲的に取り組もうとする。  
(美術への関心・意欲・態度)
- 形がもたらす感情を意識して、単純化や省略、強調など創造的な構成を考えながら構想を練る。  
(発想や構想の能力)
- 鋳型の技法を理解し、自分の表現意図に合うように表し方を工夫しながら制作する。  
(創造的な技能)
- 作品のよさや美しさ、創造的な表現の工夫を感じ取り、自分の価値意識をもって味わう。  
(鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 題材観

中学校学習指導要領解説美術編（平成20年9月 文部科学省）の第2学年及び第3学年のA表現(1)には、「第2学年及び第3学年では、第1学年における自然をはじめとする身近な事物に加え、自己の内面や社会の様相などを深く見つめ感じ取ったこと、考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に発想や構想をすることをねらいとしている。ここでの学習では、目に見える実在の形のみならず、自己の内面、願望、感情、夢や想像の世界などから感じ取ったり考えたりしたことなど、生徒自らが心を動かされたものや自己の表したいことなどを基に発想や構想をすることを重視している」とある。しかし、学年が上がり、実際に目に見えるものを表す活動から、自己の内面、感情、夢や希望など、目に見えない、形に表しにくいものから主題を生み出し、発想や構想をしていく活動に移行する際、自分の中にイメージを見い出せなかったり、構想が深まらなかったりして、意欲の減退が起こったりする場面も見られる。

(2) 生徒の実態

本校第2学年\*組の生徒は、意欲的に学習活動に取り組む生徒が多く、話し合い活動やグループ学習においても、互いに教え合ったり意見交換をしたりすることで、課題を解決する姿が多く見られる。美術の学習に対しても、見て描く、決まりに従って描くといった題材には意欲的に取り組み、根気強く作品を仕上げることができた。しかし、自分の考えたこと、夢や想像などから主題を設定してつくる題材が増えるにつれ、主題の設定や構想の段階でつまづく生徒が増えてきた。

(3) 指導観

本題材は、低温融解金属を使った鋳型による制作である。金属を使った作品制作は行う機会が少ないため、これまでの授業においても制作の意欲は高かったが、発想・構想については深まりが見られないという課題があった。そこで、進路選択を前にした中学2年生の時期に、自分を支えてくれるお守り（チャーム）をつくるという題材にすることで、自分の夢や目標から主題を生み出すことができるのではないかと考えた。また、〔共通事項〕の視点である、形がもたらす感情を手掛かりに、同じテーマでのグループワークをしたり、本制作のアイデアスケッチの段階で話し合い活動を行うことにより、発想や構想を深めることができるのではないかと考えた。

4 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<p><b>表現</b> 自己を見つめて主体的に主題を生み出し、友達の意見を参考にして構想を練り、意欲的に作品に表そうとしている。</p> <p><b>鑑賞</b> 作者の表現意図を感じ、そのよさや美しさを味わおうとしている。</p>	<p>夢や目標を基に、形がもたらす感情を意識して、単純化や省略、強調など創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練っている。</p>	<p>鋳金の技法を理解し、自分の表現意図に合うように表し方を工夫しながら制作している。</p>	<p>作品のよさや美しさ、創造的な表現の工夫を感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。</p>

5 指導計画 (10時間扱い)

次	時	学習活動及び内容	関 心	発 想	技 能	鑑 賞
1	1	題材について理解する。 ・ワークシートで「形から受ける印象」の相違を知る。 ・グループワーク「難しい課題にもくじけず取り組む形」を表現し、発表する。	○	○		
2	1	・参考作品を鑑賞し、抽象彫刻の「形」がもたらす感情を話し合い、自分と友達の考えの相違を知る。 ・自分の作品の主題を考え、アイデアスケッチをする。		○		○
3	1	話し合い活動で主題を明確にし、更に構想を練る。 ・グループで互いのアイデアについて話し合う。 ・アイデアスケッチを改善する。	○	○		
4	6	作品の制作をする。 ・アイデアスケッチから型をつくる。 ・鋳造し、型から出す。 ・表したい様子を基に研磨していく。	○		○	
5	1	鑑賞会をする。 ・作品の相互鑑賞をして、よさや美しさ創造的な表現の工夫などを伝え合う。	○			○

6 本時の学習

- (1) 目 標 話し合い活動で主題を明確にし、単純化や省略、強調など創造的な構成を考えながら表現の構想を練る。
- (2) 準備物 ワークシート、大型モニタ、拡大投影機
- (3) 展 開

分	学習内容及び活動	指導上の留意点と支援 評価
5分	・本時の目標を確認する。 形がもたらす感情を手がかりに、友達の意見を参考にしてアイデアスケッチを改善しよう。	・前時の学習を振り返り、形が様々な感情をもたらすことを確認し、その特徴を自分の作品に生かしているか、1枚目のワークシートを見て確認する。特に友達に相談したいことを具体的に伝えるように伝える。
20分	・話し合い活動をする。	・2枚目のワークシートを配付し、4人グループの役割分担と話し合いの約束を確認する。発表者は1枚目のワークシートを友達に見せながら説明するように伝える。 ・司会、発表者の役割分担を順番に行い、話し合いを円滑に進めるよう指示する。ワークシートに説明や質問の例を提示しておく。 ・既習事項の単純化や省略、強調などを使って、表したいイメージを形にすることをアドバイスする。
10分	・友達のアドバイスを参考にして、自分のアイデアスケッチを改善する。 ・ワークシートを回し、ワークシートの感想欄に改善されたアイデアスケッチの感想を書く。	・どんなところを改善したのか、具体的に言葉で書くように伝える。 ・よいと思うところを具体的に言葉で書くよう伝える。 ◎話し合い活動で主題を明確にし、単純化や省略、強調など創造的な構成を考えながら表現の構想を練っている。 〔観察, ワークシート〕

10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数人の生徒のアイデアスケッチを取り上げ，全体の前で発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発想や構想が深まった生徒のアイデアスケッチを意図的に取り上げ，拡大投影機を使って紹介する。</li> <li>・違うグループの生徒からよいところを発表してもらい，自分と友達の考え方の相違や，それぞれの表現のよさに気づくことができるよう促す。</li> </ul>
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を振り返り，本時の成果と課題を記入するように伝える。</li> <li>・次時の連絡をし，見通しをもてるようにする。</li> </ul>